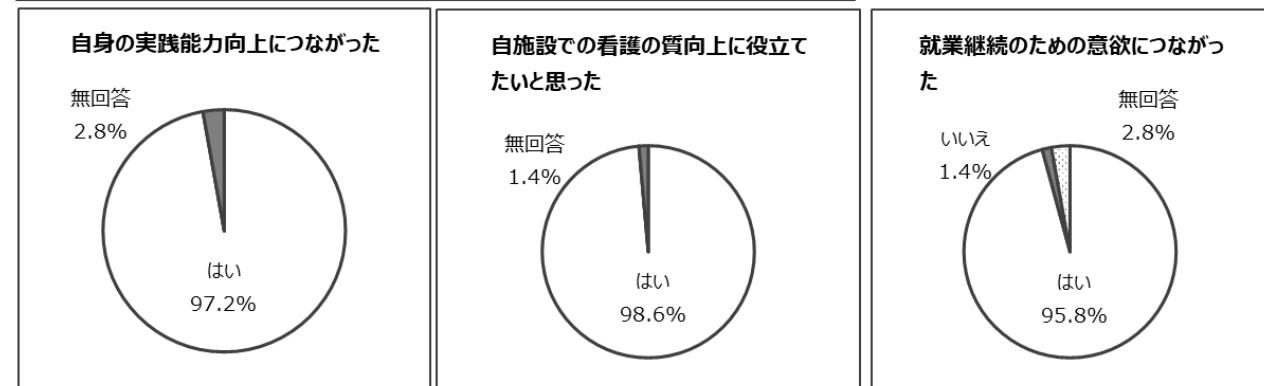
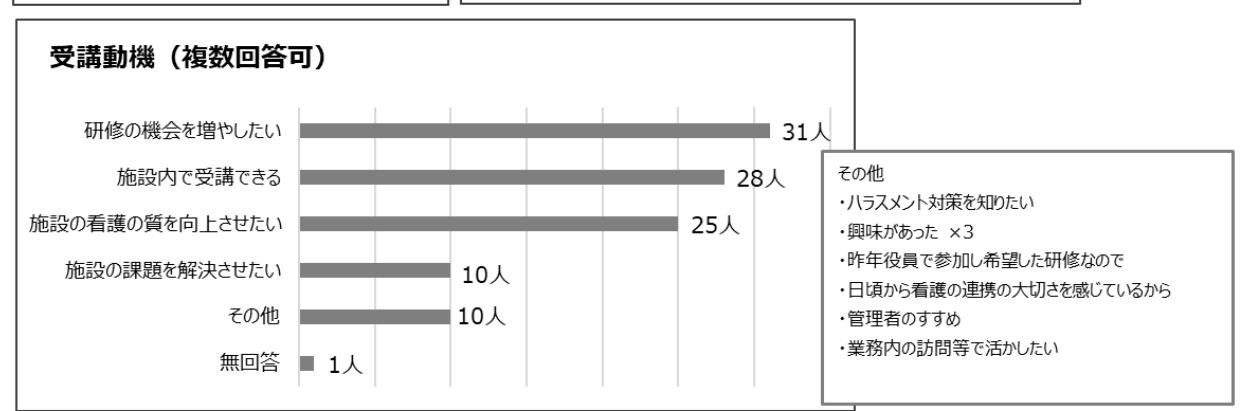
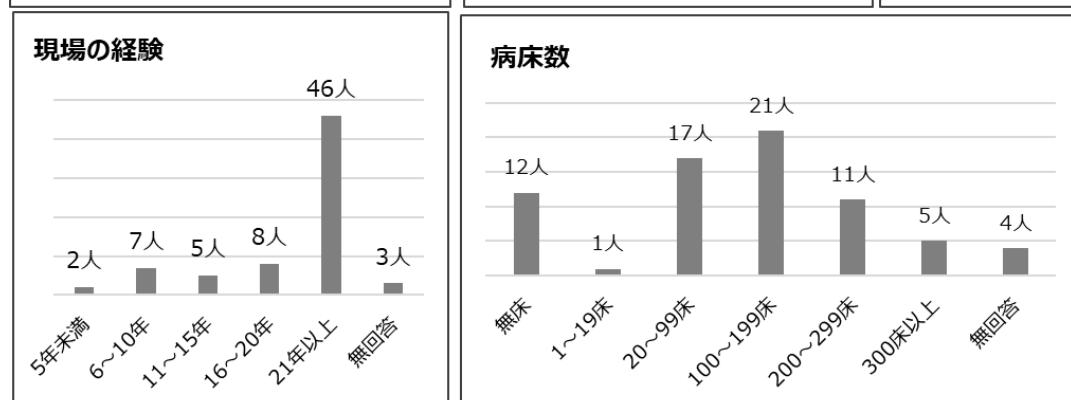
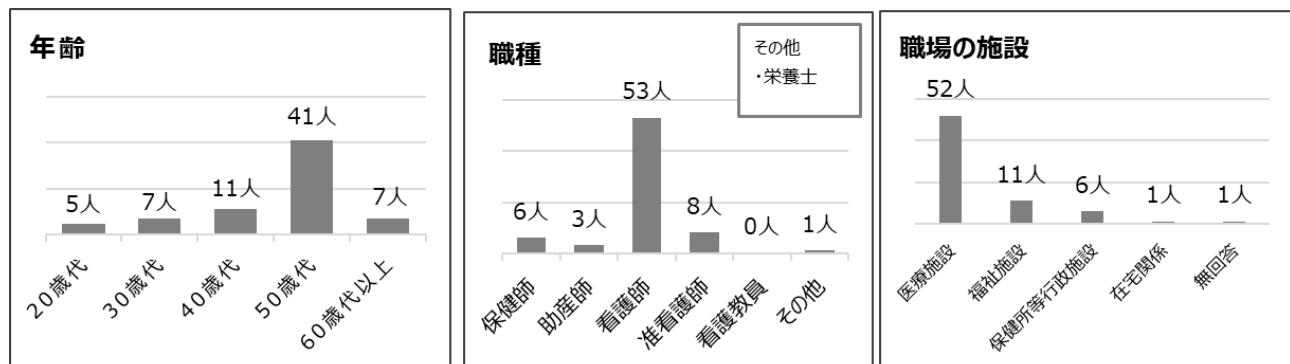


離島就業看護職員研修

目的：離島看護職員の抱える課題・ニーズ等について研修会を開催し、看護職員のキャリアアップ、看護の質向上を図る。

地区	開催日	研修内容	受講者数	会場
上五島地区	10/26 (土)	認知症患者への支援	17名	長崎県上五島病院
下五島地区	10/26 (土)	メンタルヘルスケア・ストレスマネジメント	14名	長崎県五島中央病院
壱岐地区	9/7 (土)	職場内のハラスメント対策	15名	長崎県壱岐病院
対馬地区	11/9 (土)	摂食嚥下困難患者への対応	26名	長崎県対馬病院



内容について

□ できた ■ ややできた □ あまりできなかった □ できなかった □ 無回答

実践への応用

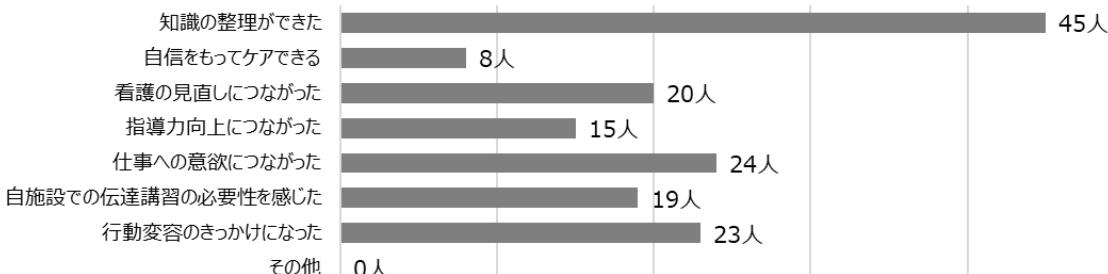
64.8%

22.5%

12.7%

平均点
(4点評価)
3.3

研修を通しての学び(複数回答可)



今後の活用(複数回答可)



その他
・自分の行動変容
・自己の精神安定
・家庭内の介護に活かせる
・訪問の時に実践してみようと思った

受講者数	72人
回答者数	71人
回答率	98.6%

※割合の合計は四捨五入の関係で100%とならない場合もあります。

所属施設 地区別

	病院	クリニック	福祉施設	行政	その他	計
県央						0
県南						0
県北						0
離島	50	4	10	6	2	72
計	50	4	10	6	2	72

<評価>

各地区で Zoom によるオンライン配信の体制も整備したが、4 地区すべてで予定通り対面型での実施できた。研修内容については、各地区の特性や要望を考慮し、地区ごとに独自のテーマを設定して実施した。参加者へのアンケート調査では、43.7%の参加者が「研修機会の増加」を主な受講動機として挙げ、研修の効果については、全参加者が「実践能力の向上につながった」「看護の質向上に役立てたい」と回答が得られた。また、大多数が「就業継続への意欲向上につながった」と回答があり、「今後の看護実践に活用したい」が 7 割を超えた。希望テーマに基づく学習の深化により、各施設における看護の質向上が期待できる結果となった。

離島就業看護職員の学習形態については、島内のみでの受講と島外での受講が、それぞれ 50%で、島内受講を選択した主な理由として、①費用負担の懸念、②研修情報の不足、③現状で十分との認識が上位を占めた。一方、島外受講を選択した参加者からは、①新しい情報収集の機会、②希望する研修内容の提供、③研修内容の質の高さ、④気分転換効果が主な理由として挙げられており、スキルアップに対する参加者の意欲の高さは、島外研修についても積極的な受講意向が高いことが確認された。

＜課題と今後の取り組み＞

今年度で、離島就業研修は終了となる。

WEB での研修は、演習参加が困難など研修形式により制限が生じてしまうが、看護スキルアップ研修やプラチナナース研修など、WEB 対応可能な研修を企画・案内する。